

北薩の輝き

良質な教育環境づくりを推進する北薩の教育

『金子みすゞに思いを馳せて』 総務課長 田尾英樹

今年正月、知人からの年始挨拶に「金子みすゞ記念館」に行ってきたとの知らせがあった。金子みすゞ(本名は金子テル)は、明治に山口県大津郡仙崎村(現在の長門市仙崎)で生まれ育ち、大正末期から昭和初期にかけて、僅か26年の生涯の中で輝きを放った童話詩人。金子みすゞの詩は以前から小学校国語の教科書にも取り上げられているので、ご存じの方やファンも多いのではと思う。

平成23年3月の東日本大震災、日本中が災害の大きさに沈痛な思いを寄せていた当時、テレビやラジオのCMで「こだまでしょうか、いいえ、だれでも。」の詩のフレーズをよく耳にした。この詩に重ね合わせ、震災がもたらした悲しみや辛さを、こだまするように、自分のこととしても感じてほしいとの思いがあった。そして私は、この詩が金子みすゞのものであることを知り、日常の中にあるごく当たり前の光景を表現した金子みすゞの詩に惹かれるようになった。

金子みすゞの詩が心地よいのは、素朴な好奇心や大人が疑いをもたないようなものへの探究心から捉えた発見や感動を、リズムカルに読みやすく表現しているところだと思う。また、見えないものにも着目した、優しさや悲しみに包まれた作品が多い。そうした詩の中で私の好きな詩を一編、

まちであった かあさんと子ども ちらと聞いたは「あした」
まちのはては 夕やけ小やけ、春の近さも 知れる日。
なぜかわたしも うれしくなって 思ってきたは「あした」

ふと耳にした親子の微笑ましい会話、そして近づく春の兆しに、「私」も幸せな気持ちを感じて、「あした」に希望を膨らませてしまうような、ぬくもりを感じさせる詩である。

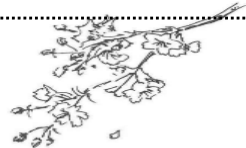
冒頭の便りで思いがけず金子みすゞの世界にふたたび思いを馳せることとなった。『金子みすゞふたたび』(今野勉著・小学館)は、かつて金子みすゞのドキュメンタリー番組の演出を手掛けた著者が、ふたたび金子みすゞの足跡を辿り、みすゞの生きた時代背景やその生涯、詩に込められた本当の真実は何かを探った、金子みすゞをより深く知りたい人に読んでもらいたい本である。

受賞おめでとうございます

- へき地・小規模校教育優秀校表彰
長島町立獅子島小・中学校
- 子どもの読書活動推進優良校
出水市立出水中学校
- 県優良少年少女団体表彰
さつま町 下京塚原子ども会
- 県子ども会育成連絡協議会表彰
さつま町 上向子ども会育成会
阿久根市 阿久根ジュニア・リーダークラブ

- 学校保健準優良学校
薩摩川内市立副田小学校
- 学校安全優良学校
出水市立出水商業高等学校
- 学校安全準優良学校
出水市立米ノ津東小学校
出水市立米ノ津中学校
- 学校体育優良学校
さつま町立鶴田小学校

- 「体力アップ!チャレンジかごしま」
学校賞
出水市立鶴荘学園(後期課程)
出水市立大川内小学校
薩摩川内市立黒木小学校
長島町立城川内小学校



地区研究指定校「国語科」公開

長島町立川床小学校 令和3年2月5日(金)

対話的活動を通して、言葉による見方・考え方をしなやかに働かせることのできる児童の育成

前時の終末の振り返りを通して、児童が疑問に感じていることを、本時のめあてに設定するなど、授業への目的意識の高い授業が展開されていました。また、自らの問いと納得解を生み出す単元構想や問いかけの工夫など、2年間の取組が系統的で、成果が多い研究公開でした。



鹿児島県小・中学校教育活動実践記録表彰

- 奨励賞 出水市立鶴荘学園(後期課程)
重信 圭祐 教諭 【校内研修】
- 奨励賞 薩摩川内市立川内南中学校
川畑 智子 教諭 【校内研修】



※ 表彰者の教育活動実践記録は、3月中に県教育委員会ホームページに掲載予定です。

【県・北薩地区 公表】令和2年度鹿児島学習定着度調査結果

令和3年1月実施

【単位：％】

教科	問題別	小学5年			中学1年			中学2年		
		県	地区	県比	県	地区	県比	県	地区	県比
国語	基礎・基本	81.1	81.1	0.0	82.9	81.9	▲1.0	76.8	75.1	▲1.7
	思考・表現	63.1	62.3	0.8	73.8	72.3	▲1.5	76.6	76.0	▲0.6
	全体	75.1	74.9	▲0.2	78.7	77.5	▲1.2	76.7	75.5	▲1.2
社会	基礎・基本	80.5	79.2	▲1.3	67.1	67.2	0.1	67.6	66.9	▲0.7
	思考・表現	68.2	66.1	▲2.1	58.8	57.1	▲1.7	67.6	67.8	0.2
	全体	75.5	73.9	▲1.6	64.4	63.8	▲0.6	67.6	67.2	▲0.4
算数 数学	基礎・基本	75.9	75.9	0.0	80.4	78.4	▲2.0	71.3	68.3	▲3.0
	思考・表現	53.7	52.7	▲1.0	61.7	59.5	▲2.2	58.5	56.1	▲2.4
	全体	69.4	69.1	▲0.3	74.8	72.8	▲2.0	67.0	64.2	▲2.8
理科	基礎・基本	75.8	76.0	0.2	71.4	70.4	▲1.0	74.3	73.2	▲1.1
	思考・表現	73.7	72.1	▲1.6	68.2	68.9	0.7	62.3	62.0	▲0.3
	全体	74.9	74.3	▲0.6	70.3	69.9	▲0.4	70.8	70.0	▲0.8
英語	基礎・基本				67.4	66.2	▲1.2	62.6	60.5	▲2.1
	思考・表現				69.7	70.0	0.3	45.5	44.0	▲1.5
	全体				68.0	67.3	▲0.7	57.8	55.8	▲2.0

全体の結果では、14調査全てが県平均を2年連続で下回っており、依然として厳しい状況です。県の目標通過率7割を達成した教科は、14調査中7調査で、昨年度より1調査増加して、努力の跡は伺われますが、県平均を上回っていない現状です。特に、小学校は社会、中学校は数学と中2の英語が課題となっており、授業改善等、全校体制による組織的な取組が求められます。

第34回県地区対抗女子駅伝

1月31日(日)に霧島・隼人路で行われた地区対抗女子駅伝。結果は以下のとおりでした。
出水地区 第4位 川薩地区 第6位



第68回鹿児島県下一周市郡対抗駅伝大会

2月13日(土)～17日(水)の5日間、県下のコースで白熱したレースが繰り広げられました。
川薩地区 第5位 出水地区 第7位



選手のみならず、選手を支えるスタッフ、応援して下さるみなさん、感動をありがとうございます！

両大会ともコロナ下での実施で、沿道や中継所付近での応援自粛でした。SNSやラジオでの配信等の新しい取組もありました。沿道からの声援がない状況で、選手は己と闘いながら、粘り強く襷を繋ぐ姿が印象的でした。

今年度の事故・違反を振り返って

令和2年度、わいせつ、セクハラに関する事案が増加し、ハラスメントに関する通知とともに、ハラスメント根絶に関する緊急指導として、具体的な資料を使って県下全学校で校内研修を行いました。また、管内では飲酒運転の事案も発生するなど、不祥事が後を絶たない状況です。

速度超過の防止、体罰の禁止、わいせつ行為の根絶、ハラスメントの防止等については、学校全体・個人で取り組む目標の設定や、個人ファイルの活用などの取組を展開してきましたが、管内で起こった事故・違反等の発生件数は、前年並みでありました。

県民の信頼を取り戻すために、教職員一人一人がしっかりと自覚し、来年度こそは事故・違反「0」を達成しましょう！！

編集後記

桜の季節がまたやってきました。季節の移ろいを五感で感じる季節。「光陰矢の如し 少年老い易く 学成り難し」今年度も多くの経験を積み、まとめをする季節です。しかし、その経験を生かしていくことは難しく感じます。頑固さとは違う一本の芯とブレることとは違う柔軟性を持ち、学び続けなくてはならない。そう感じています。

良質な教育環境づくりへのアドバイス

この3月、校長として数校勤められた先生が退職されます。今年度の運動会での開会の挨拶をされる横顔を拝見しながら思うことでした。校長先生の経営される学校は、どこも環境美化が整い、教職員が感謝の「おかげさまの心」をもち、一丸となって目標達成に向けて取り組んでいる姿があります。「教育は人なり」